

2021年5月10日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証JASDAQ: 4316)

問合せ先: 取締役経営管理部長 大谷 英也
(電話 03-5297-2181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年1月29日に発表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2021年3月期通期連結業績予想修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,260～1,310	△20～10	△40～△10	△45～△15	△13円94銭 ～ △4円65銭
今回修正予想 (B)	1,344	46	59	41	12円85銭
増減額 (B - A)	84～34	66～36	99～69	86～56	—
増減率 (%)	6.7%～2.6%	—～360.0%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,494	101	116	88	27円55銭

2. 修正の理由

前回発表以降、各事業分野、特にソリューション事業分野における受注の上積みがあり、予想していた売上高を上回る見通しとなりました。

モビリティ・イノベーション事業分野、ワイヤレス・イノベーション事業分野においては対前期比で減収となる見通しですが、ソリューション事業分野は増収となる見通しです。

売上高の見通しが増加し、これに伴い売上総利益も改善する見通しです。販売費及び一般管理費については、コロナ禍で事業活動が縮小し労務費・旅費交通費・交際費が減少したことや、福利厚生費の一部削減、2021年3月期内に予定していた新株予約権の発行を延伸したことなどにより対前期比で減少する見通しです。これにより営業利益を計上する見通しですが、過去最高益となった対前期比では約半分となります。

赤字を見込んでいた持分法投資損益についても、株式会社MMSマーケティングが同様に3月に大型案件を計上し利益を上積みしたことで約8百万円計上し、経常利益に貢献する見通しとなりました。

3. 今後の見通し

事業分野別の状況等の詳細につきましては、2021年5月13日発表予定の2021年3月期決算短信にて記載させていただきます。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

以 上